

尿検査の新たな潮流

尿検査は恐らく最も古い検体検査であり、Hippocratesの時代には実施されていたとされています。そして、古い検査として認識されている尿検査ですが、実はかなり大きなpotentialを秘めています。さらに尿検査には、侵襲的な処置を必要とせずに検体が採取できるという大きなメリットがあります。

このような尿検査の可能性に着目し、次世代の尿検査の開発がすでに始まっています。すでに実用化された検査もありますが、多くはこれからの検査として期待されています。本特集ではそのような新しい尿検査について紹介し、また現状の尿検査に残された課題や新たな尿検査の開発に向けた動きを解説しています。臨床的に有用性の高い尿検査が開発できれば、非侵襲的という特性から理想に近い検査となることが期待されます。本特集をお読みいただき、古典的検査である尿検査の新たな可能性を感じ取り、尿検査の新たな魅力を発見してください。

佐藤尚武(順天堂東京江東高齢者医療センター臨床検査科)